

# 弁当パックで、 火山の立体模型を作ろう

【個人出展】

山口県防府市立華陽中学校 松村 浩一

## ●どんな工作なの？

火山の形には、マグマや溶岩のねばりけが関係しています。その火山の立体模型を弁当パックを使って作りましょう。一枚の弁当パックのふたに、1本の等高線を写したものを積み上げる方法で、立体的に観察できます。

## ●工作のしかたとコツ

### 【用意するもの】

火山の等高線地図、弁当パック（ふたの方）、つまようじ、マジック

### 【工作のしかた】

- (1) 等高線地図の上に弁当パックを1枚置き、一番内側の等高線をなぞります。
- (2) (1)と同じように、弁当パック1枚ごとに等高線を外側に1本ずつずらして書き写します。これを繰り返します（図1）。
- (3) (1)の弁当パックが一番上になるように順番に積み上げます。その際、ふたの間に2本ずつつまようじをはさんで隙間を作ります（図2）。
- (4) 全て積み上げると、火山の形が立体的に見えます。火山の形を観察しましょう（図3）。
- (5) できあがった立体模型に、火山名を書いたシールを貼って完成です。



図1 等高線をなぞる

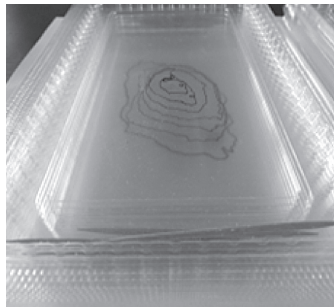


図2 つまようじを入れて  
すき間をつくる

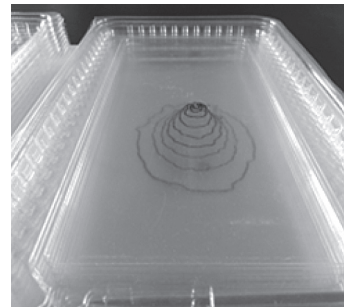


図3 立体的に観察できる

## ●気をつけよう

弁当パックの間に入れているつまようじの先がややとがっていますので、注意しましょう。

## ●もっとくわしく知るために

- ・この工作は、2002年から2005年にかけて、青少年のための科学の祭典全国大会で筆者が紹介したものです。
- ・足利裕人著：「つくる科学の本2」p.120 シータスク（2004）